

韓国農村集落における風水景観 および風水思想と地形の関連性に関する研究

都市計画研究室 風水景観研究チーム

0856035 樋口夏希

研究背景

風水理論・・・地形と人間の営みを結びつける**環境重視**の作法

開放感

躍動感

清涼感

安心感

周囲の環境を作り変えようとしがちな
現代の景観を考え直す一環となる

理想的な風水の地形

集落の背後・・・高くそびえる山 (主山・鎮山)

集落の前方・・・水流 (水口)

集落の周囲・・・山々
玄武<北>
青龍<東>
白虎<西>
朱雀<南> (四神砂)



村山智順:「朝鮮の風水」, 朝鮮総督府, 1931年

目的

風水の吉地選定のプロセスによって造られた集落の地形構造的な特徴と風水集落が創出する景観の特徴を明らかにすること

対象地域



濫川(ランチョン)

対象地域

智異山(チリ)

徳頭山(ドクトウ)

バレボン

チャンアム山

クムデ山

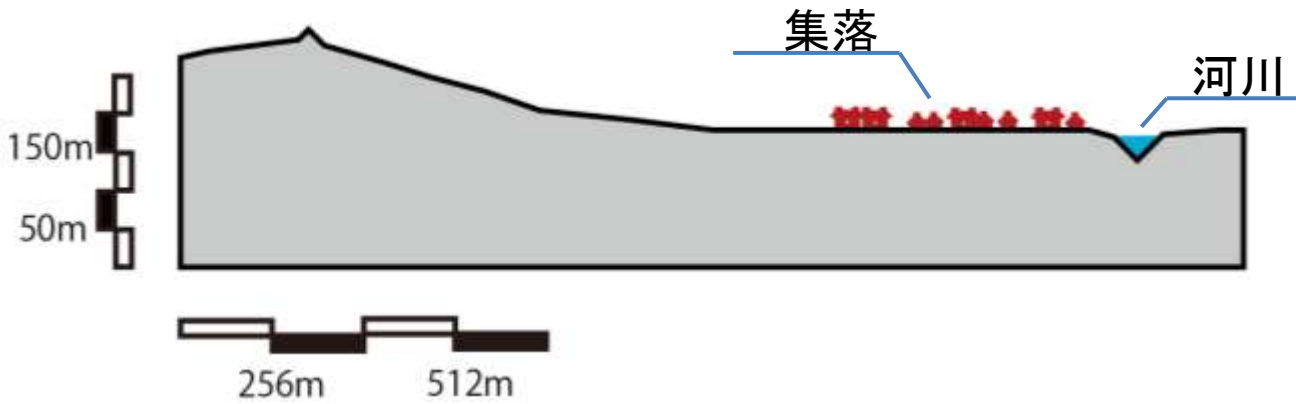
三丁山(サムジョン)

白雲山(ベグン)

三峰山(サンボン)

理想的な条件を持った集落が多い

各集落の立地条件による分類(断面図の作成)

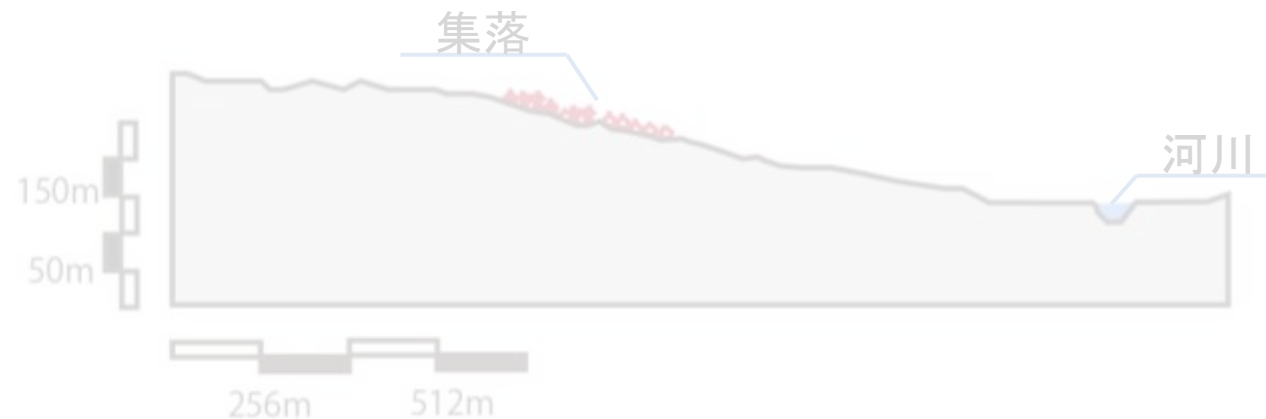


水近平地型



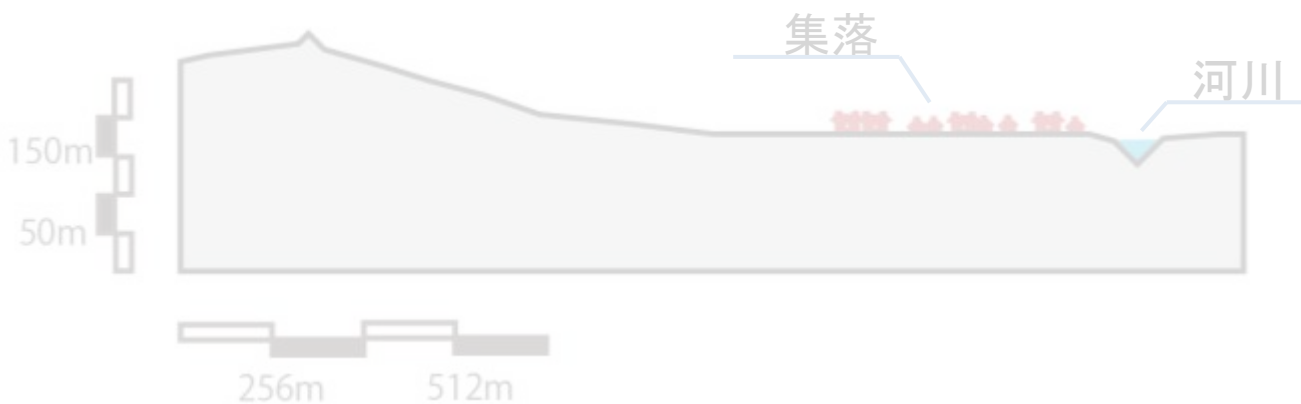
河川に近く平地に集落が存在する

水遠傾斜地型

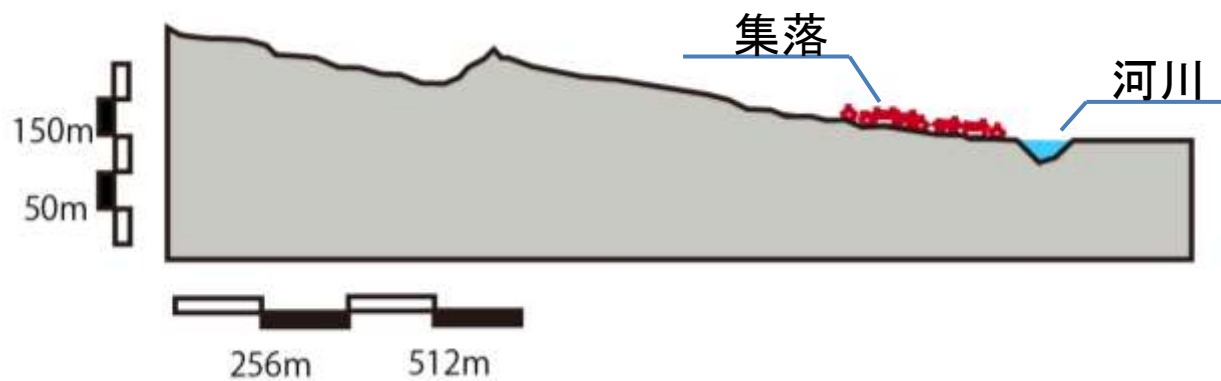


水遠傾斜地型

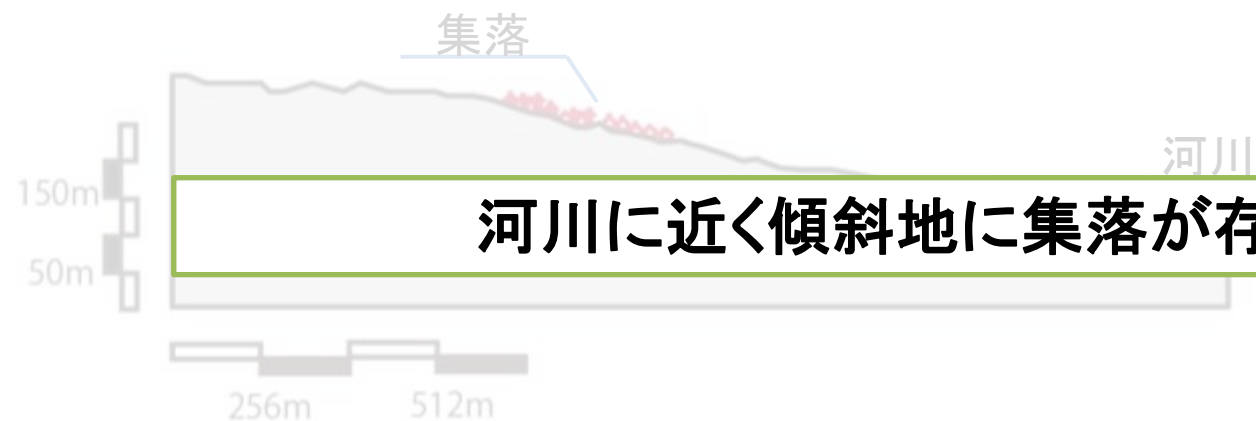
各集落の立地条件による分類(断面図の作成)



水近平地型



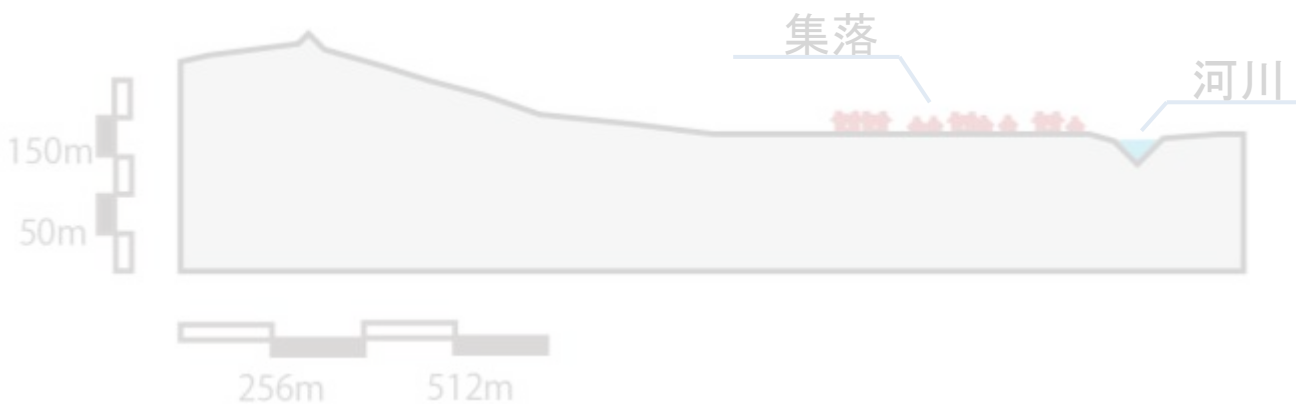
水近傾斜地型



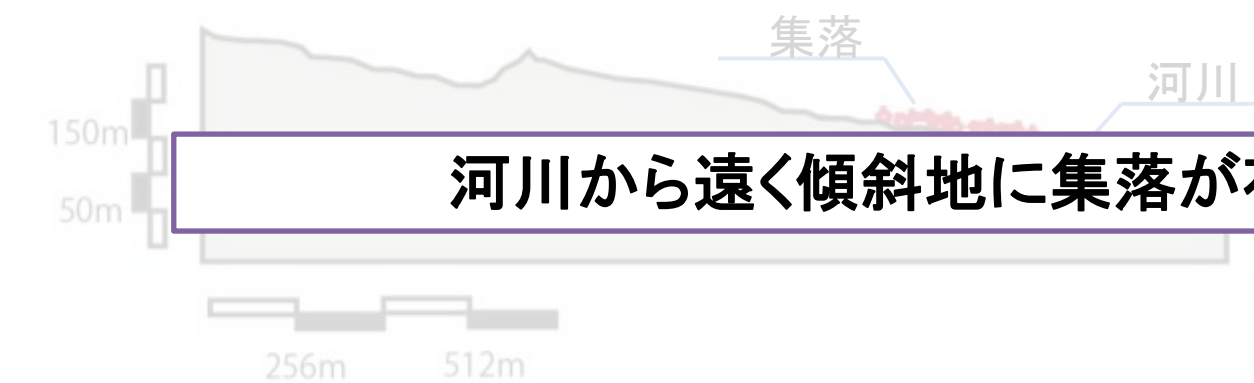
河川に近く傾斜地に集落が存在する

地型

各集落の立地条件による分類(断面図の作成)

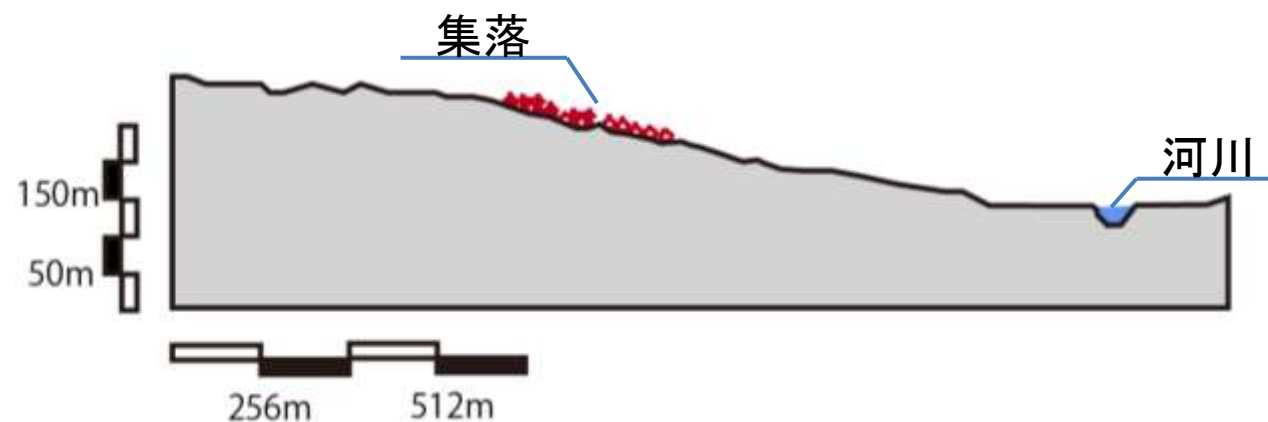


水近平地型



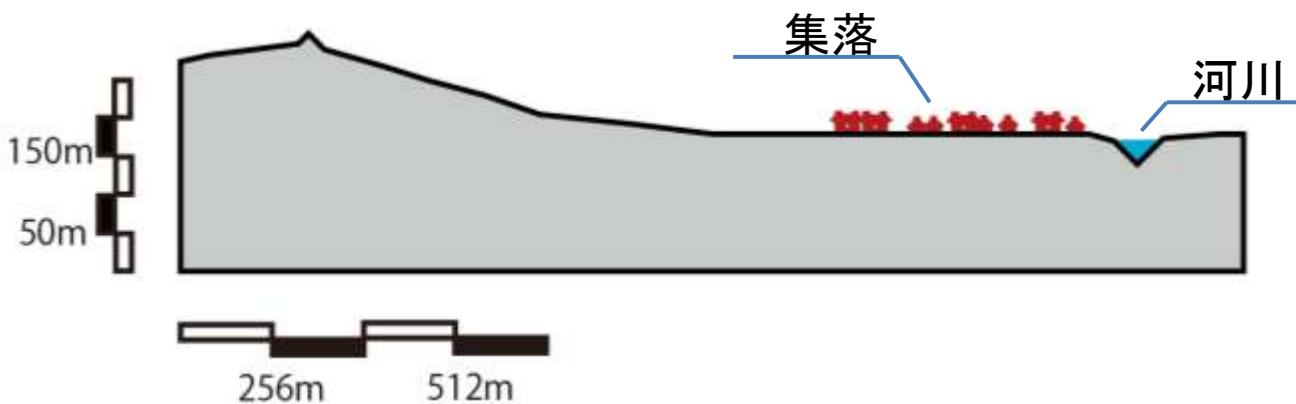
河川から遠く傾斜地に集落が存在する

地型

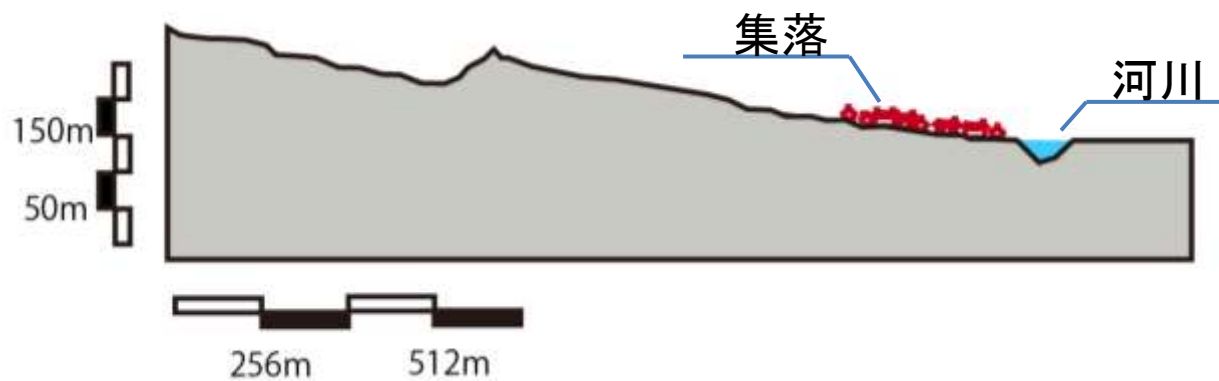


水遠傾斜地型

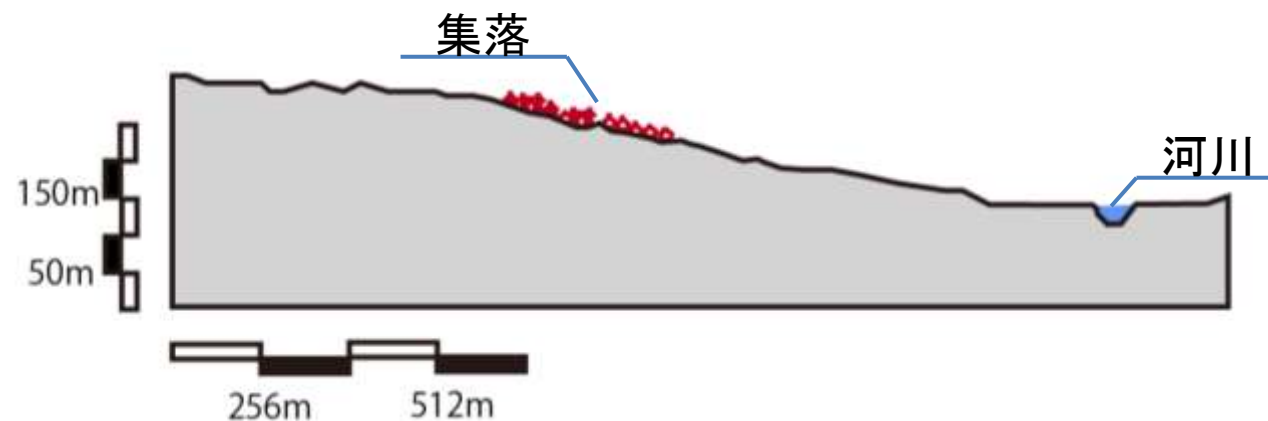
各集落の立地条件による分類(断面図の作成)



水近平地型



水近傾斜地型



水遠傾斜地型

各集落の立地条件による分類

地形分類	No.	集落名
水近平地型	3	大井(デゾン)
	4	立石(イツソツ)
水近傾斜地型	5	中基(ジュンギ)
	7	三化(サンワ)
	8	白日(ベッイル)
	9	下黄(ハファン)
	10	中黄(ジュンファン)
水遠傾斜地型	1	獐項(ザンハン)
	2	梅洞(メドン)
	6	元泉(ウェチョン)
	11	上黄(サンファン)

⇒この地形的特徴と風水思想には関係があると仮定する

各集落における風水思想と地形構造的特徴の関係

地形分類	No.	集落名	風水認知		集落の住民が風水を感じる理由
			有	無	
水近平地型	3	大井 (デジョン)	3	2	平地で住みやすい
	4	立石 (イソソツ)	1	2	ソウルのような雨での被害がない ジルサンサがある・景観が良い(面全体での風水を感じる)
水近傾斜地型	5	中基 (ジュンギ)	0	2	昔、地理学者が訪れ、 この土地は風水的に良いと言っていた
	7	三化 (サンワ)	4	2	山参が山にある・風水的な伝統がある(昔から良いと言われている) 水や山、空気がきれい・外から移住して来る人が多い
	8	白日 (ベッイル)	0	5	ジルサンサ・チリ山がある(面全体での風水を感じる)
	9	下黄 (ハファン)	1	3	人の心が優しい(山内面の警察から賞をもらったことがある) 長生きの人が多い
	10	中黄 (ジュンファン)	0	2	-
水遠傾斜地型	1	獐項 (ザンハン)	2	3	-
	2	梅洞 (メドン)	4	0	山が幾度も連なっている 山も川も昔から良いといわれている
	6	元泉 (ウェチョン)	1	0	昔から風水的に良いと言われている 里の人の心が優しい・チリ山に囲まれている
	11	上黄 (サンファン)	2	0	山が並んでいる・水や空気がきれい・人の心が優しい

風水認知: 有と無の人数の差が1人とほとんどない
風水を感じる理由: 生活がしやすいこと

各集落における風水思想と地形構造的特徴の関係

地形分類	No.	集落名	風水認知		集落の住民が風水を感じる理由
			有	無	
水近平地型	3	大井 (デソソ)	3	2	平地で住みやすい
	4	立石 (イソソ)	1	2	ソウルのような雨での被害がない ジルサンサがある・景観が良い(面全体での風水を感じる)
水近傾斜地型	5	中基 (ジュンギ)	0	2	昔、地理学者が訪れ、 この土地は風水的に良いと言っていた
	7	三化 (サンワ)	4	2	山参が山にある・風水的な伝統がある(昔から良いと言われている) 水や山、空気がきれい・外から移住して来る人が多い
	8	白日 (ベッイル)	0	5	ジルサンサ・チリ山がある(面全体での風水を感じる)
	9	下黄 (ハファン)	1	3	人の心が優しい(山内面の警察から賞をもらったことがある) 長生きの人が多い
	10	中黄 (ジュンファン)	0	2	-
水遠傾斜地型	1	獐項 (ザンハン)	2	3	-
	2	梅洞 (メドン)	4	0	山が幾度も連なっている 山も川も昔から良いといわれている
	6	元泉 (ウェチョン)	1	0	昔から風水的に良いと言われている 里の人の心が優しい・チリ山に囲まれている
	11	上黄 (サンファン)	2	0	山が並んでいる・水や空気がきれい・人の心が優しい

風水認知: 無と答えた人数が14人と多
風水を感じる理由: 面全体や土地の良さ

各集落における風水思想と地形構造的特徴の関係

地形分類	No.	集落名	風水認知		集落の住民が風水を感じる理由
			有	無	
水近平地型	3	大井 (デソソ)	3	2	平地で住みやすい
	4	立石 (イツソツ)	1	2	ソウルのような雨での被害がない ジルサンサがある・景観が良い(面全体での風水を感じる)
水近傾斜地型	5	中基 (ジュンギ)	0	2	昔、地理学者が訪れ、 この土地は風水的に良いと言っていた
	7	三化 (サンワ)	4	2	山参が山にある・風水的な伝統がある(昔から良いと言われている) 水や山、空気がきれい・外から移住して来る人が多い
	8	白日 (ベッイル)	0	5	ジルサンサ・チリ山がある(面全体での風水を感じる)
	9	下黄 (ハファン)	1	3	人の心が優しい(山内面の警察から賞をもらったことがある) 長生きの人が多い
	10	中黄 (ジュンファン)	0	2	-
水遠傾斜地型	1	獐項 (ザンハン)	2	3	-
	2	梅洞 (メドン)	4	0	山が幾度も連なっている 山も川も昔から良いといわれている
	6	元泉 (ウェチヨン)	1	0	昔から風水的に良いと言われている 里の人の心が優しい・チリ山に囲まれている
	11	上黄 (サンファン)	2	0	山が並んでいる 水や空気がきれい・人の心が優しい

風水認知: 有と答えた人数が9人と多
風水を感じる理由: 山の形や連なり

各集落における風水思想と地形構造的特徴の関係

地形分類	No.	集落名	風水認知		集落の住民が風水を感じる理由
			有	無	
水近平地型	3	大井 (デゾン)	3	2	平地で住みやすい
	4	立石 (イツソツ)	1	2	ソウルのような雨での被害がない ジルサンサがある・景観が良い(面全体での風水を感じる)
水近傾斜地型	5	中基 (ジュンギ)	0	2	昔、地理学者が訪れ、 この土地は風水的に良いと言っていた
	7	三化 (サンワ)	4	2	山参が山にある・風水的な伝統がある(昔から良いと言われている) 水や山、空気がきれい・外から移住して来る人が多い
	8	白日 (ベッイル)	0	5	ジルサンサ・チリ山がある(面全体での風水を感じる)
	9	下黄 (ハファン)	1	3	人の心が優しい(山内面の警察から賞をもらったことがある) 長生きの人が多い
	10	中黄 (ジュンファン)	0	2	-
水遠傾斜地型	1	獐項 (ザンハン)	2	3	-
	2	梅洞 (メドン)	4	0	山が幾度も連なっている 山も川も昔から良いといわれている
	6	元泉 (ウエチヨン)	1	0	昔から風水的に良いと言われている 里の人の心が優しい・チリ山に囲まれている
	11	上黄 (サンファン)	2	0	山が並んでいる・水や空気がきれい・人の心が優しい

⇒各集落に住む人々の風水思想は、その集落の立地条件に影響があると考えられる

各集落における風水景観

●写真の選定・・・各集落1枚ずつ、合計11枚の写真を選定 ⇒分析に使用



選定写真



●写真に写り込んでいる山までの距離を計測

各集落における風水景観

視点から各山までの距離表

集落No	距離(m)		
	丘	主山	遠方の山
1		1350	
2	5200	2720	
3	3400	2920	
4		2150	3340
5		1890	
6		1930	
7		1910	2840
8	9000	2250	
9		1920	
10		2400	3320
11		1950	3220

丘・山という要素のみで
近・中・遠景の景観が
構成されている



手前・中間・奥という
奥行きのある風景が
常にあることから
重畳感を生み出している

各山が含まれる写真数を距離別にあらわした表

視点からの距離 (m)	近・中・遠景	写真の枚数		
		丘	主山	遠方の山
0~500	近景	1		
501~1000		2		
1001~1500	中景		1	
1501~2000			5	
2001~2500			2	1
2501~3000	遠景			3
3001~3500				3
3501~				



近景: 人間の認知限界とされる4000ft(1200m)前である0~1000mの領域
 中景: 個々の樹木が肌理の単位となる領域
 遠景: 中景域以遠の距離を指し、山の見えの大きさが500mでは変わらない領域



各集落における風水景観

山には景観として眺めるのに程よい「山の見えの大きさ」が存在する



写真に写り込んでいる山までの仰角を計測

主山: 11~14° に72%が存在
丘: 7~9° に66%が存在



山を見込む仰角に
良いとされている
10° 前後に近い数値

景観の良さに繋がっている

集落No	標高差(m)/距離(m)		仰角(°)	
	丘	主山	丘	主山
1		0.16		9
2	0.13	0.25	7	14
3	0.01	0.20	1	11
4		0.2		11
5		0.37		20
6		0.28		16
7		0.22		12
8	0.16	0.25	9	14
9		0.23		13
10		0.22		12
11		0.25		14

篠原 修編・景観デザイン研究会著:「景観用語事典」, 彰国社, pp106-107「『日本名山圖會』では高い山も低い山もほぼ同じ大きさに描かれるが, これは山を景観として眺めるのに程よい「山の見えの大きさ」があることを示している。それは, 「視点から山までの距離」と「視点と山との比高」との相対値である, 山を見込む鉛直角の角度で表わされる。通常「見込角」というが, これがおおよそ10度前後である時が適当であるといわれている。」



風水集落により形成される盆地景観

- 写真の選定・・・盆地全体を見渡すことが出来る視点からの
写真を繋げ合計2枚のパノラマ写真を作成 ⇒分析に使用



パノラマ写真A (No. 6の集落の背後から撮った写真)



パノラマ写真A (No. 7の集落の背後から撮った写真)

- 写真に写り込んでいる山までの仰角を計測

風水集落により形成される盆地景観

表10 標高差・距離・ArcTan θ ・仰角を求める表

写真	対象の山	標高差(m)	距離(m)	標高差/距離	仰角
パノラマA	山1	655	4350.59	0.150554293	9
	山2	672	5909.34	0.113718283	6
	山3	651	6382.71	0.101994294	6
	山4	510	5336.99	0.095559482	6
	山5	481	4348.12	0.110622522	6
	山6	360	2331.1	0.154433529	9
パノラマB	山1	485	3116.34	0.155631285	9
	山2	607	4447.67	0.136475953	8

仰角:全てが6° ~9°



山を見込む仰角に良いとされている
10° 前後に近い数値

主山単体が程良い大きさで見えるだけでなく、
盆地全体としても山の見えは良い景観を生み出している

篠原 修編・景観デザイン研究会著:「景観用語事典」, 彰国社, pp106-107「『日本名山圖會』では高い山も低い山もほぼ同じ大きさに描かれるが、これは山を景観として眺めるのに程よい「山の見えの大きさ」があることを示している。それは、「視点から山までの距離」と「視点と山との比高」との相対値である、山を見込む鉛直角の角度で表わされる。通常「見込角」というが、これがおおよそ10度前後である時が適当であるといわれている。」

7章 総括

地形と思想

- 集落の立地条件から特徴として「**水近平地型**」「**水近傾斜地型**」「**水遠傾斜地型**」の**3つに分類**できた。
- **地形構造的特徴**がその集落に住む人々に**風水思想**を与えていることが**確認**できた。

景観

- 丘・山という要素のみで**近・中・遠景の景観**が織りなされており、**重畳感**を生み出していた。
- 各集落の主山の頂上を見上げる際の仰角はどの集落においても、**山を見込む仰角に良いとされている10度前後に近い数値**であることが明らかとなった。
- 盆地全体を見渡せる位置からみた山々は、その**全てが見えの大きさが良いとされている10度前後に近い値**であることが明らかとなった。

⇒景観の良さに繋がっている

ご清聴ありがとうございました

